

資料 1

ナイル川水利新協定 エジプトなど署名せず 上、下流国対立 合意には数十年？

アフリカ大陸北東部から地中海に注ぐ大河ナイル川の上流国と下流国の間で、水利用をめぐる対立が顕在化している。流域の経済成長と人口増加に伴う、農業用水や発電のための水需要の増大が背景にある。ナイル川の取水については、1929年と59年に結ばれた協定が現在も有効であり、下流のエジプトとスーダンが90%以上の水を利用できている。このため上流に位置する諸国は、より公平な水利用の権利を求めているが、交渉は難航しそうだ。

ナイル川の国際管理については、流域9カ国が参加する「ナイル川流域イニシアチブ(NBI)」がある。NBIの上流4カ国(エチオピア、ルワンダ、タンザニア、ウガンダ)は14日、エジプト、スーダンが会議を欠席するなか、「ナイル流域協力枠組み協定」に署名した。両国の働きかけが奏功したのか、ブルンジとコンゴ(旧ザイール)も欠席した。ケニアは署名しなかったが、新協定を支持する声明を出した。

ナイル川流域イニシアチブ加盟国



NBIは1999年、増大する水需要と減少するナイル川の水供給に対処するため、流域国の水利協力について「共通のビジョン」を推進する目的で創設された。運営資金は主に国際援助に頼っており、これまで世界銀行など国際機関から1億3000万ドル(約117億円)を受け取っている。加盟国の拠出金は1400万ドルにすぎない。

NBIは、より公平な水配分を行うため、上流国が中心になって新協定について協議してきたが、上流国と下流国の見解の違いを克服できず、上流国のみによる今回の新協定署名となった。同協定は署名に1年間、開放されており、今後、署名国と未署名国との駆け引きが活発化するとみられる。

<http://www.sankeibiz.jp/macro/news/100525/mcb1005250504004-n1.htm>

## ナイル川:上流VS下流 水めぐる綱引き今も

<http://windforce.blog.shinobi.jp/Entry/745/>

毎日新聞 2009年10月5日 東京朝刊

全長約6650キロに及ぶ世界最長級の河川ナイル川。流域の「命の源」として世界四大文明の一つエジプト文明をはぐくんだ流れは、「血の一滴」とも言われる水を巡る争いの種にもなってきた。20世紀に入ってから、下流国に有利と見なされる取り決めに上流国が反発する構図が続いている。流域国間の交渉がこう着する中、最大取水国エジプトでは日本の支援で水の有効利用を図る動きもある。

地中海岸のエジプト・アレクサンドリアで7月末、「ナイル流域イニシアチブ(NBI)」の閣僚会合が開かれた。ナイル川の水利用に関する新協定案の合意を目指したが、結論は出ず、協議は半年間延長されることになった。消費される水の95%をナイル川に頼る最下流国エジプトと、水利権拡大を目指すエチオピアなど上流・水源国の対立が解けなかったためだ。

NBIはナイル川開発での協力などを目的に99年発足し、世界銀行の支援を受ける。加盟国は上流のタンザニア、ブルンジから下流のスーダン、エジプトまでの9カ国で、エリトリアがオブザーバー参加している。

ナイル川流域国の水配分は基本的に、1929年にエジプトと英国(支配下のアフリカ4カ国を代表)、59年にエジプトとスーダンがそれぞれ結んだ二つの協定に基づく。ナイル川の年間水量を推定840億トンと規定。うち約100億トンを蒸発喪失分として差し引き、エジプトは555億トン(約75%)、スーダンは185億トン(約25%)の取水権を持つ。

他の流域国の取り分については「要求があれば両国が共同対処する」(59年協定)とあるだけ。エジプトは自国の取水に影響が出る上流国でのナイル川関連事業などに対する事実上の拒否権(29年協定)も保持している。

ナイルの水使用を「歴史的権利」(アハメド・ワファ・カイロ大教授=国際法)と考えるエジプトに対し、60年代初頭に独立した上流・水源国のほとんどにとって、既存の協定は植民地時代の「あしき残滓(ざんし)」と映る。エチオピアやケニアでは干ばつの影響で、1600万人以上が食料不足に直面しているとの国際NGO報告もある。人口増加率が高い貧困国が多く、水は国の存亡にかかわる資源だ。

水問題に詳しい石川薫駐エジプト日本大使は「アフリカでもアラブでも『水は命』と言われ、非常に重要な問題。決着には地道な努力が必要だろう」と指摘する。

世界では水を巡る争いは枚挙にいとまがない。米オレゴン州立大の調査では、48~99年に37件の武力衝突が発生した。中東では、ヨルダン川の水利問題が67年の第3次中東戦争の一因になったと言われる。世界的にも「21世紀には水資源の争奪から戦争が起きるだろう」(世銀幹部)との懸念がくすぶる。ヨルダンの元水資源相、ムンター・ハッダディン氏は「合意できなければ国際司法裁判所を利用する方法もある。武力で水紛争を解決するのでは意味がない」と話している。

---

社会のきまりやその決定の仕方について考えよう

---

シングルライダー(Single Rider)とは、TDLやUSJなどのアミューズメントパークで、一人で乗り物に乗る人のこと。1人でアトラクションを利用する代わりに、優先的に短い待ち時間でアトラクションに案内してもらえるシステムです。例えば、6人乗りの乗り物に3人と2人のグループを乗せると1席余りができてしまいます。そこで、その余りの席をシングルライダーを希望する人に乗ってもらうというわけです。

さて、シングルライダーについてA、B二つの意見があるようです。あなたはどうか判断しますか。

**A** 「シングルライダーをもっと増やそう！」

東京ディズニーリゾートのアトラクションは空席ができるアトラクションがとても多いです。特に、ハニハニとバズは1席空く可能性は90%くらいありますよね。(奇数での利用だし。)他にも、マウンテンやセンターとか。もう全てのアトラクションでシングルライダーをやってほしいと思いませんか？はっきり言って、空席は本当にもったいないですよね。 (「Yahoo知恵袋」より)

**B** 「シングルライダーって公正なの？」

「一人である」という理由だけで、長い待ち時間を耐えて行列に並んでいる人よりも優先されてアトラクションに乗るとするのは、いくらなんでも不公正ではないだろうか。

空席をなくすことでアトラクションの回転率が上がるからみんなハッピーになるとは限らない。ディズニーランドは、短い時間でより多くの人をアトラクションに乗せることができてもよいかもしれないが、自分より後から並んだ人が自分より短い待ち時間でアトラクションを楽しめるのは納得がいかない。シングルライダーは、一人で知らない人たちと乗るというリスクのみで、長い行列を並んで待っている人を追い越してアトラクションを楽しめてよいのだろうか。私はこのシステムは公平でないし、正しくないと思う。 (東京ディズニーリゾート利用者の意見より)

~~~~~ 解 説 ~~~~~

シングルライダー (Single Rider) とは、一人で乗り物に乗る人のこと。また、その人たち向けのテーマパーク・遊園地などのサービス。日本では東京ディズニーシーとユニバーサル・スタジオ・ジャパンで実施されている、グループではなく1人で乗る人が優先的にアトラクションに乗れる制度。これにより、普通に待つより早くアトラクションに乗れる。それぞれのテーマパークにより制度は細かい違いはあるが、共通する部分は以下の通り。

- ・4人乗りや3人乗りなどの乗り物に3人グループや2人グループが入り、ひとり分空席ができた場合にひとりが優先的に乗れる。
- ・実施されない日や時間帯などがある。
- ・通常の待ち列(スタンバイ列)とは別に専用の列がある(東京ディズニーシーの場合、ファストパスの列を使用)。
- ・ウォルト・ディズニー・ワールド・リゾート、香港ディズニーランド、ユニバーサル・オーランド・リゾートなどでも行われている。

<http://ja.wikipedia.org/wiki/%E3%83%A1%E3%82%A4%E3%83%B3%E3%83%9A%E3%83%BC%E3%82%B8>

資料 4

現在、あなたの中学校ではAの日程で学校生活を送っています。清掃は、すべての清掃分担で 13:20 から 15 分間取り組んでいます。これに対して、Bの日程案が提案されました。昼食の時間終了後、すぐに清掃に取り組み、終了次第昼休みになる、というものです。

各学級での話し合いの結論をもとに新しい日程を決定することになりました。あなたの学級はどのような結論を出しますか。話し合っ決定してみましょう。

|       | A       | B       |
|-------|---------|---------|
| 12:50 | ―――     | ―――     |
|       | 昼 食     | 昼 食     |
| 13:10 | ―――     | ―――     |
|       | 休 憩     | 清 掃     |
| 13:20 | ―――     | ―――     |
|       | 清 掃     | ―――     |
| 13:35 | ―――     | ―――     |
|       | 昼 休 み   | 昼 休 み   |
| 14:00 | ―――     | ―――     |
|       | 第 5 校 時 | 第 5 校 時 |
| 14:50 | ―――     | ―――     |

ルール

- ・ 15 分間は必ず清掃に取り組む。
- ・ 清掃場所は学期に一度交代する  
←慣れた清掃場所の方が取り組みやすいので

- ・ 清掃が終了次第、昼休みにしてよい。

○あなたの学級の清掃の現状と各清掃分担へのインタビュー結果

あなたの清掃分担場所はおよそ何分で清掃を終了することができますか。

| 清 掃 場 所 | 人数  | 必要な時間 (分) |
|---------|-----|-----------|
| 教 室     | 1 4 | 1 2       |
| 保 健 室   | 4   | 1 5       |
| 英 語 室   | 1 5 | 1 0       |
| 渡り廊下    | 6   | 2 0       |

話し合い後、記入してみよう。

- ・ どんな対立が見られましたか。また、なぜ対立したのでしょうか。
- ・ どのようにしてあなたの学級は合意に至りましたか。
- ・ 新しく決まった日程及びルールを守らない人に対して、何を伝えますか。